

科目名	数学概論Ⅰ Mathematics SeminarⅠ			担当教員	南 貴之		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	1
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	10G04_20240	単位区別	履修
学習目標	一変数および多変数の微分積分学の復習を通じて学力の向上を図り、編入学生の勉学を助けると共に大学へ編入学するのに十分な実力を養成する。						
進め方	問題を解く練習を通じて既習内容の復習・補完をし、数学の学力の向上と定着を図ると共に本校への編入学生・大学へ編入学を希望する学生の指導に資する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 数列の収束・発散（その１）(1) 2. 数列の収束・発散（その２）(1) 3. 数列の収束・発散（その３）(1) 4. 関数の極限（その１）(1) 5. 関数の極限（その２）(1) 6. 微分法的应用（その１）(1) 7. 微分法的应用（その２）(1)			数列や級数の収束・発散の判定や極限の計算およびそれらの応用ができる。 D1:4 関数の極限の計算およびそれらの応用ができる。 D1:4 一変数関数の微分が計算でき、それらの応用ができる。 D1:4			
	[前期中間試験](2)						
	8. 試験問題の解答(1) 9. 不定積分の計算（その１）(1) 10. 不定積分の計算（その２）(1) 11. 定積分の計算（その１）(1) 12. 定積分の計算（その２）(1) 13. 定積分の計算（その３）(1) 14. 広義積分（その１）(1) 15. 広義積分（その２）(1)			一変数の積分の計算およびそれらの応用ができる。 D1:4			
	前期末試験						
	16. 試験問題の解答(1) 17. 積分の応用（その１）(1) 18. 積分の応用（その２）(1) 19. 積分の応用（その３）(1) 20. 偏微分の計算（その１）(1) 21. 偏微分の計算（その２）(1) 22. 偏微分の計算（その３）(1)			多変数関数の微分が計算でき、それらの応用ができる。 D1:4			
	[後期中間試験](2)						
	23. 試験問題の解答(1) 24. 偏微分の応用（その１）(1) 25. 偏微分の応用（その２）(1) 26. 重積分の計算（その１）(1) 27. 重積分の計算（その２）(1) 28. 重積分の応用（その１）(1) 29. 重積分の応用（その２）(1)			重積分の計算およびそれらの応用ができる。 D1:4			
	後期末試験						
	30. 試験問題の解答(1)						
評価方法	定期試験90％，レポート等10％の比率で総合的に評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	微分積分学（2学年） → 微分積分学（3学年） → 数学概論Ⅰ						
教 材	プリントによる問題集，１年から３年までに使用した教科書および問題集						
備 考							